

どうしても、昨年度の今頃を思い出してしまいます。コロナの感染拡大により、臨時休業期間中で、修了式はできませんでした。悲しかったです。

でも、今年はできます。確かにまだ、終息と呼べる状況ではありませんが、学校で、全員そろって、修了証書を渡すことができます。そのことに意義があります。震災の時もよく言われましたが、今年もよく耳にします。当たり前前が当たり前前にできることの喜び。今を大切に生きていきたいと思えます。

23日（火）、令和2年度の修了です！

本日、23日（火）をもって、206日間の授業を終え、令和2年度が修了となります。本当にいろいろなことがありました。コロナ禍によって、苦しいことや悲しいことが多かったですが、でもそれを上回る楽しいことや嬉しいことがたくさんありました。感動もいつもの年より大きかったです。だから、決して今年の状況を嘆くことはしません。むしろ多くのことを学ぶことができた、人と人とのつながりを大切に思うことができた、生徒と共に学校にいられることのありがたさを感じた、いいことがたくさんあった年として記憶にとどめていきたいと思えます。

1. 2年生の生徒の皆さん、保護者の皆様、進級おめでとうございます。来年度も今年度以上に頑張っ、充実した学校生活を送られるよう期待しています。

昨年に比べてずいぶん降った雪も消え、阿賀のほとりのこの学び舎に、春の日差しが降り注ぐ今日の佳き日、ここに令和2年度修了証書授与式を挙行できること、大変嬉しく思っています。思えば昨年の修了式は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となり、修了証書を保護者の方に取りに来ていただくというような異例な状態だったことを思い出します。当たり前前が当たり前前にできない状態の苦しさ、可能性を模索しながら、小さなことでもみんなとの時間を共有できることの喜びとを、両方味わった1年となりました。皆さん本当によく頑張りました。

4月後半からの臨時休校、学校再開後の土曜授業、中体連大会の中止や日常生活における「新しい生活様式」の導入とそれに伴う様々な行動規制は、結局のところ、1年間を通して、私たちに重い負担をもたらすものとなってしまいました。以前終息しないコロナ禍とは、「ウィズコロナ」として、「ゼロ コロナ」になるまでのさらに長い期間の共存を余儀なくされています。

でも、そんな1年の間にも、皆さんは確実に成長を遂げてきました。

1年生の皆さんは、入学して間もなくの臨時休校でしたから、戸惑いはさらに大きかったと思います。学校が再開してもその多くのことが初めてのことで、慣れるまで一苦勞だったことでしょう。それでも、先輩方や先生方の助言を真剣に聞いて、何事にも一生懸命取り組むことができました。団結力とパワーがあり、常に明るく前向きに頑張る姿勢がとて立派でした。

2年生の皆さんは先輩としての自覚がしっかりと身につけ、部活動や諸行事において、1年生の良きお手本となっていました。それぞれの個性を生かし、自分の役割をしっかりと果たすことで、中堅学年としての責任を立派に果たすことができました。相変わらず何事にもまじめに取り組み、男女仲良く協力し合い、笑顔を絶やすことなく頑張る姿は、高郷中の伝統を継ぐにふさわしい、凛々しく、頼もしい姿に成長をとげました。

皆さんが今年体験した様々な出来事は、確かに、困難な状況ではあったかもしれないけれど、それを乗り越えてきたこの1年を、むしろ貴重な1年として捉え、これからの学校生活と人生における大きな自信にしていってほしいと思えます。そして、その自信を次の目標のステップとして生かし、より強くたくましく成長していってほしいと思えます。

先ほど「修了証書」を代表の生徒に授与しました。毎年同じ話をしますが、「修了証書」には、皆さん一人一人の名前が記載され、校



印と校長先生の印が押してあります。たった1枚の他の用紙と変わらない普通の紙切れですが、実はこの紙はとても大切な物なのです。それは、今年1年、皆さんが、健康で、勉強や運動に一生懸命励み、1年を通して努力を続けてきたことの証明書だからです。ですから改めて言います。1・2年生の皆さん。それぞれの学年の修了と進級おめでとう。よく頑張りました。それぞれの学年に進級しても、また新たな自分の目標に向かって頑張っていってください。

4月1日には令和3年度が始まり、6日には新入生が入学します。同時に新2年生は高郷中の先輩としての、新3年生は学校の顔としての生活が始まるわけですが、これまでに積み上げてきたものに自信をもち、さらに大きな夢に向かって頑張っていってほしいと思います。そのためにも、この春休みの期間、しっかり健康を保ち、基本的な生活習慣を維持してほしいと思います。そして4月6日始業式の日、全員が笑顔で元気に登校できるよう期待し、式辞といたします。



感動あふれる卒業式でした！

3/12(金)に卒業証書授与式が挙行され、15名の卒業生が新しい進路に向かい、巣立っていきました。昨年度と同様、コロナウィルス感染拡大防止のため、参加者を制限しての式にはなりましたが、厳粛な雰囲気の中、温かみのある、深い絆を感じさせる、感動ある卒業式となりました。「送辞」を述べた荒井美希さん、「答辞」を述べた和田圭代さんの言葉も胸にしみいる素晴らしいものでした。そして卒業生の歌った「3月9日」、生徒全員で合唱した「旅立つ君へ」はマスク越しでも体育館に美しく響く感動的な歌声で、出席者全員の胸を打つものでした。

3年生のみんなが、高郷中の卒業生として、これからも活躍してくれることを願っています。



春休みを有意義に過ごしましょう！

明日(24日)から春休みになります。1年間の自分の成長を確かめるとともに、次の学年の生活の目標を立て、更に自分を成長させていくための準備期間ととらえられます。この1年で何ができるようになって何ができなかったか、ご家庭でも話題にして、目標設定を家族で行ってみるのはとてもいいことだと思います。特に、学習面においては、今年度理解が不十分だったところの点検と復習は、できれば今年度中に済ませておきたいものです。そうすることで、新しい学年の学習をスムーズにスタートさせることができます。

くれぐれも事故なく、健康にも注意して、有意義な春休みを過ごすようよろしくお願いします。



※保護者の皆様へ

保護者会全体会でもお話ししましたが、実り多い、充実した3年間を送ることができました。高郷中生と過ごしたこの3年間の思い出は、生涯忘れることはありません。いい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

次年度からの新体制においても、これまでと同様、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。お世話になりました！

